



村のつどき

合併の方向性は分権・分散型

地方自治組織勉強会



▲4市町村から参加者が集まった勉強会

村が主催する合併に係る自治組織勉強会は、2月21日に宿泊体験館「きこり」で行なわれ、飯館村、小高町、鹿島町、原町市から、議員や合併協議会の委員など50人が参加しました。

勉強会では、千葉大学教授で東京大学名誉教授の大森彌（わたる）先生を招き、「合併後の自治の仕組み」という演題で講演が行なわれました。

大森先生は合併に関して、国や他の都道府県の情勢について話し、また、①一番深刻なのは少子化。それをまず考えるべき②新しい市議会の編成は、小選挙区制を作る。議会が住民自治の最後の砦。③地域自治組織など一定の自治組織をもつ行政組織を作る。



▲バックホーを操縦する受講者

と、今後の検討の課題についても話していました。さらに、「飯館村が合併するならば分権・分散型の合併しかない。合併後、この情勢を乗り切っていくことのできる自治体を作らなければいけない」と述べ、講演を締めくくりました。

講演会の後は、村長と村議会議員、また合併協議会の地元委員らが、大森先生を囲んで懇談会を行いました。参加者からは今後の合併に向けて、様々な質問をしていました。

遊休農地解消・耕地改良を効果的に

村農業委員会が遊休農地の解消や、耕地改良等のため実施した「建設機械操作講習会」は、2月28日、29日の2日間行われ、地元の農家ら約50人が参加し、建設機械の操縦を学びました。

28日、いちばん館で走行・作業に関する構造及び法令等の講義を受けた参加者らは、29日、役場北側の空き地で実際にバックホーを操縦、一通りの基本操作を学んでいました。

今回の受講者には、後日修了証が交付されます。